

みずほ熟年塾 & 町議会

男女共同参画社会を理念として活動していた「地域女性セミナーの会」。その後、男女の定年後の生き方、暮らし方などを語り合う集いの場として男性にも参加を呼び掛けて「みずほ熟年塾」を発足しました。平成19年に生涯学習団体に登録され、現在は26人の塾生で活動されています。



「熟年塾農場」でさつまいもの収穫

こんな時だから 皆さんに笑いを届けたい

Q どのような活動をしていますか？

―畑で野菜や小麦作り、料理教室、年4回の落語「みずほ寄席」の開催などを行っています。

―花見やハイキングもやっていますよ。

―月に1回の定例会で次に何をするか企画します。

―コロナ禍なので、料理教室は自粛中ですが、塾生に一番人気の企画なのでぜひ再開したいですね。
―年会費2000円です(笑)。

Q 入塾のきっかけは？

―定年になって余暇を楽しみたいと思って入塾しました。

―塾長と飲んでいて、熟年塾で畑をやっていると聞いたので、耕運機を持っているし、手伝えるかなあと思い入塾しました。

―熟年塾の前身の「地域女性セミナーの会」から関わっています。

Q 入塾されて良かったことは。

―いろいろな人と話ができるのがとにかく楽しい。

―畑仕事を1時間やったら1時間休憩だけでも、その休憩時間の話が楽しいです。

―子供の頃、ザリガニやカエルを捕まえて食べた話なんか面白かったですよ。

―畑仕事が終わって、家に帰ってシャワーを浴びて、夕方、また畑に集まって夕涼み会をやったこともあります。

―そうそう、下田さんが手作りランタンを作ってくれて、ムードを演出してくれましたね。

―台所に立ったことのない夫が男の料理教室に参加して、料理をするようになりました。安心して外出できるようになりました。

―須賀さんからうどん作りを教わって、今では塾生のほとんどが粉からうどんを作れるようになりました。

Q 面白いエピソードはありますか？

―いつもは男性がうどんを作り、女性が天ぷらを揚げていたんですけど、一度逆転してみようということになりました。腕がパンパンになりました(笑)。

―こどもフェスティバルで竹馬をやりました。子供より楽しんでいたお父さんがいましたね。

―花見に行ったら、塾生の一人が歌集を作ってくれて…。みんなで青春の歌を歌ったのはいい思い出です。

―ハイキングに参加した時、何十年かぶりに登山靴を履いたら途中で壊れた。登山なんか久しぶりだったんだなあ。

Q 今後の予定は。

―落語会を開催します。コロナ禍の今だからこそ、皆さんに笑いを届けたいと思っています。

―スカイホールの大ホールを借りて、椅子をとびとびに空けるなどの対策をとって行います。安心して落語を楽しんでほしいですね。

参加して下さったみずほ熟年塾の皆さん、ご協力ありがとうございました。



こんな時だから笑いを届けたいと語る 関谷塾長



手作りランタンを作った下田さん



耕運機で熟年塾農場の畑を耕す古川さん



うどん作りはお手の物、しめ縄だって作る須賀さん



うどん作りで腕がパンパンになった関谷さん



男の料理教室で夫が台所に立つようになったと喜ぶ根岸さん